

大子タイムリー

◆発行 日本共産党大子町委員会 ◆責任者 佐藤 正弘

2012・3・6 No. 222 電話77-0352

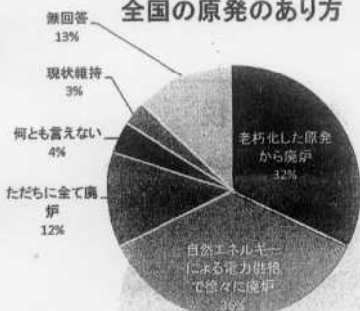
「町民アンケート」の結果を報告します。



よせられた声から

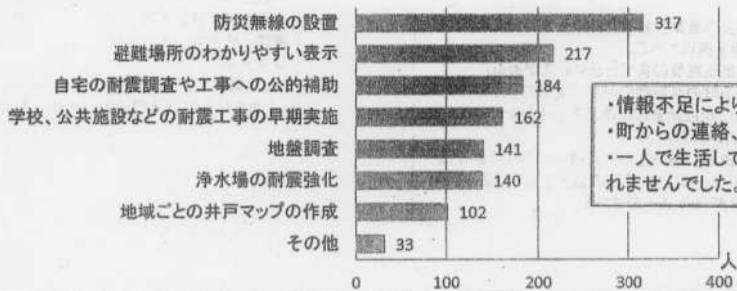
- ・日本国内で現在2基しか動いてないが、節電と火力発電で対応できるので原発は要らない

全国の原発のあり方



- ・原発時代は終わった。原点にもどり太陽光か、その他の自然エネルギーに変えるべきです。
- ・多少価格が高くても安全な電気を使いたい。

震災など「防災の街づくり」について望むこと



- ・情報不足により不安が増大した。
- ・町からの連絡、検討を要す
- ・一人で生活していて車もなく給水車が近くにきてくれませんでした。

- ・必要な情報が入らなかった
- ・避難場所を設けてほしかった
- ・机上の計画や資料のみにならぬように



アンケートへのご協力
ありがとうございました。



日本共産党

大子町議会議員
佐藤 正弘

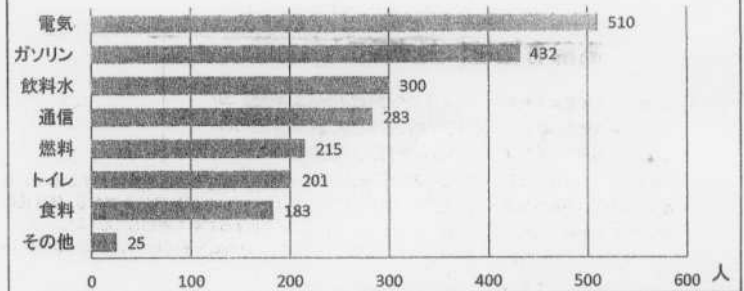
日本共産党大子町委員会は、1~2月に町民アンケートを行いました。2月20日までに582人の方から回答をいただきました。ありがとうございました。

アンケートには、くらしの実情や切実な要望が沢山寄せられてありました。また、『政治を変えたい』『共産党に頑張ってもらいたい』などの声も多くあり、大変励まされております。

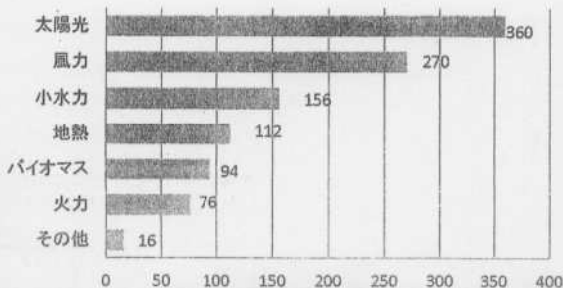
いただいたご意見をしっかりと活動に生かし、全力で頑張ります。

引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

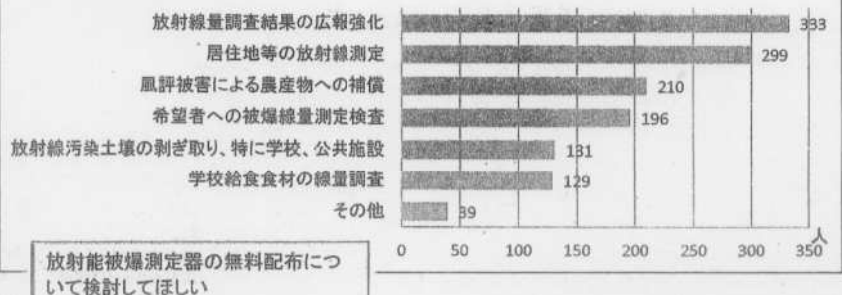
地震で困ったこと



エネルギー対策



放射能問題についてどの様な対策が必要か



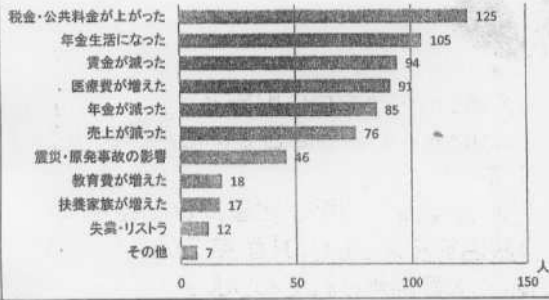
放射能被曝測定器の無料配布について検討してほしい

現在の暮らし向き

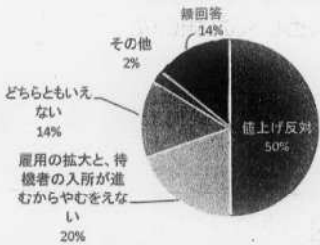


税金、公共料金など上げたら大変になる。ますます町がダメになる。
・年金月5万円で生活していますが持病があり薬代が高く年間30万円くらいかかります。

暮らし向き

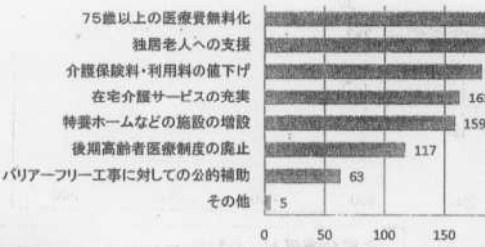


介護保険料値上げ



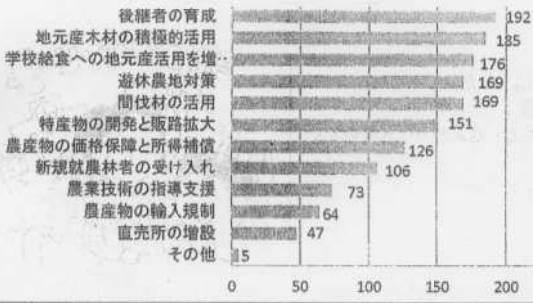
・介護保険料9,000円・8,200円(妻)は極めて高く感じます。その他、健保、固定資産税、住民税によって収入額が減ります。
・行政の負担がふえるとの町の財源が苦しくなる。自分たちに関する経費の一部はやむをえないと思う。

高齢者福祉に対すること



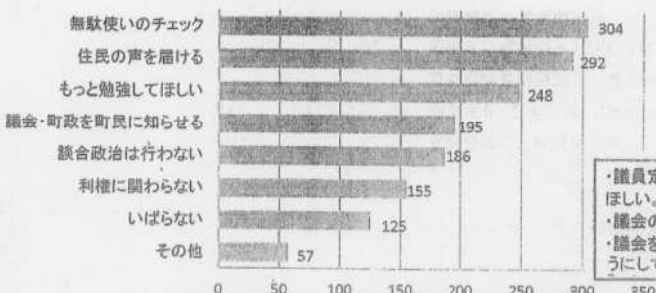
・特養ホームの費用が高いので自宅介護をしているのが負担が多すぎる。要介護の状態によって町で負担してほしい。
・みどり号の回数(週1回)増やしていただきたい。

農林業の振興に必要なこと



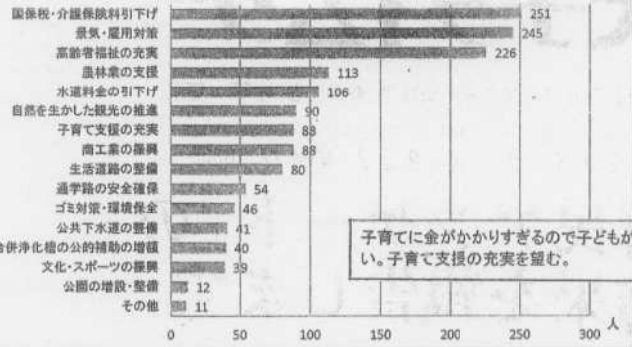
・都会の農業希望者を当町へ呼び込むための政策を実現すること。
・林業後継者の育成を急ぐ必要がある。
・大子町の農産物のPRが不足しているのではないかと。学校給食には地元産のものをどんどん取り入れてください。
・池田の118号沿いに規模の大きな農産物直売所を新設して、販路の拡大を図る。道の駅の直売所は中途半端である。

町議会議員に何を求めますか



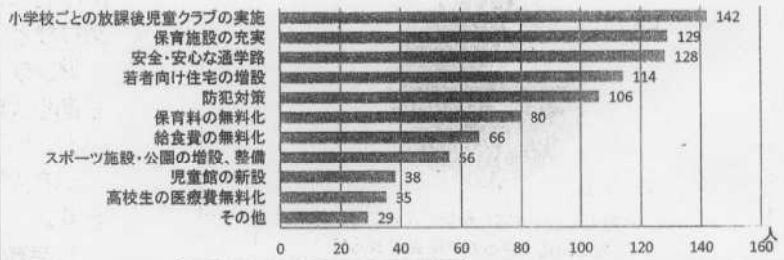
・議員定数を減らし、その予算を福祉にまわしてほしい。
・議会の実況を録画し、公開してもらいたい。
・議会を土・日に開催し、働く町民も傍聴できるようにしてほしい。

福祉と活力ある街づくり



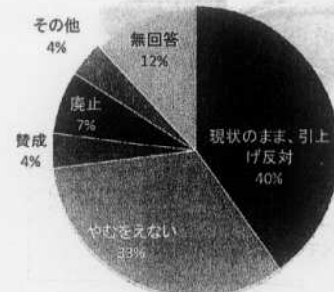
子育てに金がかかりすぎるので子どもがつかれない。子育て支援の充実を望む。

子育て支援



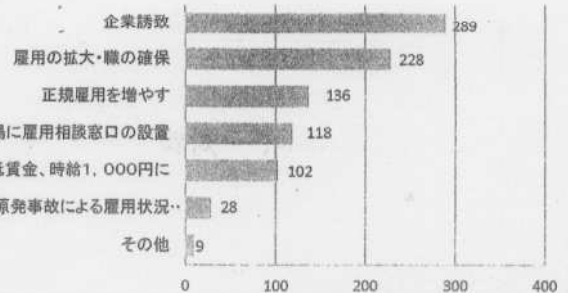
・祖父母と同居しているため保育園や放課後児童クラブに入れない。
・保育料、給食費の無料化が望ましい。
・「子育て支援」納得できません。

消費税増税



・ぼう大な防衛費の一部を削減すれば、増税の必要はない。
・増税の前になすべきことがある。国会議員の定数削減と議員報酬の引下げ、公務員の定数削減と給与の引き下げなどがある。(同意の意見多数)
・政党助成金、官房機密費などムダを洗い出し、あまくだりによる税金のムダ使いをなくす

雇用に関心



・若者が定住するためには、働く場所の確保、とにかく企業誘致だと思ふ。役場職員が総力を挙げて取り組んでもらいたい。
・地元で現存する企業が雇用を拡大できるように、町として補助や支援に